

ふり返りの時

聞き手に問われて、ぴったりした言葉が見つかる 校長 Sr.大山 江理子

校庭の木々に春の芽吹きが見られるようになりました。昨年春の休校措置から始まった今年もまとめの時期を迎えようとしています。このたびも各学年の保護者をオンライン開催とさせていただきます。ご参加ありがとうございました。皆さまのご理解に感謝いたします。例年と異なる1年間となり、児童の心にも特別な1年として刻まれていることと思います。子どもたちの努力と保護者の皆さまのご協力により、ここまで進めてくることができました。ありがとうございました。



アシビ



学年末はふり返りの時です。今回の振り返りで児童はどのような思いを見出すでしょうか。学校生活での友だちとの関わりの中に、時には難しさがあっても、共にあることの楽しさや力があることにきっと気づくことができると思います。それをどのような言葉で表現できるでしょうか。



サンシュユ

ふり返りのときに大切なことは、よく思い出して、ぴったりくる言葉を見つけることです。「楽しかった」、「うれしかった」と言うときにも、どうして?どのように?ということが表せることが大切です。詳しい説明だけが良いとも言えませんが、自分の心にあるものは何だろう、どのような気持ちや考えだろうとゆっくり自分を見つめて、自分に問いかけることが大切です。思いがけないことがあったとき、期待はずれの事柄に出遭ったときには、残念な気持ちをもつものです。そのときにも何が、どのようにと問いかけてみることは大事なことです。

よいふり返しには、よい聞き手が必要です。大人なら自分自身の内でふり返し、自分に聞き、確かめることができますが、子どもたちは誰かに聞いてもらうことが必要です。「ふーん、どうしてそう思ったの?」「どんなふう楽しかったの?」「ちょっと嫌だったんだ。もう少し教えて。」尋ねてもらいと、子どもは言葉を探し始め、自分の気持ちや考えにぴったりくる言葉を見つけることができます。その時、経験したことが心と頭の中で新しい学びとしてぴったり収まります。「あー、そうだったんだ」とぴったりくると、次のステップに向かうことができます。親子の会話の中にふり返りのヒントがたくさんあります。親子それぞれの心にぴったりくる楽しい会話をなさってください。

【注文お弁当について】

4月分の注文は、現在の学級名で1つ上がった学年で申し込んでください
 例) 3年ばら組35番 聖心花子 ⇒ 4年ばら組35番 聖心花子
 * 5月以降の注文は、正規の学年クラス番号でお申し込みください。



失敗のすすめ ー七転び八起きで強い心を育むー

副校長 中塩 百合

前庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿を見ると、一年前のことを思い出します。年度末について考えることが目白押しとっていた最中に、全国一斉休校の知らせ。耳を疑いつつ、翌日の登校が春休み前最後かもしれないと職員室は慌ただしく動き出しました。予想をはるかに超えた一年を、子どもたちなりに一生懸命過ごしてきました。我慢もありましたが、友だちと笑い合い、仲良く遊び、真剣に学習に向かう姿に「よく頑張りましたね」の言葉を一人ひとりに贈りたいと思います。4月からはそれぞれ新しい学年に進学、進級します。4月までの日々は、振り返りの中から次につながる一歩を見つけ真摯に取り組む助走の時です。人間は走る時、跳ぶ時、いきなり思い切り力を出すことはできません。この助走の時を大切にしてほしいと思います。



6年「私みたいな動物」



子どもたちが日々学ぶように、私たち教員も定期的に研修をし、新しい情報を得ながら教育について考える機会をもちます。その中で、初・中・高等科の教員皆の話題となるのが「失敗」についてです。失敗というとマイナスイメージを持たれる方もいるかもしれませんが、生きていく上で失敗の経験から得るものは大きく、失敗の原因を考え克服する過程で、あきらめない心やチャレンジする心が培われていきます。「失敗学」という学問があるように、成功への道しるべと捉えて素直に受け入れ、冷静に原因を究明することが大切です。

小さい頃からの、一つ一つの失敗の積み重ねが子どもたちに強い心を育み、未来をつくっていくと考えると、是非たくさん失敗をさせていきたいものです。中・高等科生になって自分の能力を発揮できるのは、小さな失敗に心折れない生徒だと言われます。そのためには、まず私たちまわりの大人が子どもの失敗に寛容であることが大事です。親御さんにとっては、大切な子どもが失敗しないよう先回りしてその芽を摘みたくなる気持ちは当然です。でも、目の前の失敗を回避するのではなく、失敗がその先にある子どもの成長した姿に繋がることを信じて、時にはぐっと我慢して見守ることも必要でしょう。私も毎日失敗の連続ですが、神様からいただいたアドバイス、大きな失敗を回避する知らせと捉え感謝しながら一歩ずつ進んでいます。

数年前、学習発表会で発明家トーマス・エジソンの言葉が紹介され、多くの初等科生に納得感を与えました。

「私は失敗など一度たりともしていない。

これでは電球は光らないという発見を、2万回してきたにすぎないのだ。」

この先に、エジソンの成功があったのでしょうか。

ワクチン接種が開始され、少しずつ光が見えてきましたが、今後も社会状況を見極めつつ、良い緊張感を保ちながら学校生活をすすめて参ります。保護者の皆様には、この一年ご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

3月・4月の予定

3月 1日(月)	1年・転入・編入生保護者会	4月 1日(木)	聖木曜日
2日(火)	感謝のミサ(4限)	2日(金)	聖金曜日
3日(水)	母の会代表幹事会	3日(土)	聖土曜日
4日(木)	5限まで授業	4日(日)	復活の主日
9日(火)	面接日・午前授業	8日(木)	前期始業式
10日(水)	面接日・午前授業	9日(金)	入学式
11日(木)	面接日・午前授業	12日(月)	午前授業
15日(月)	午前授業	13日(火)	午前授業
16日(火)	6年生を送る会・午前授業・大掃除	14日(水)	1年・転入・編入生保護者会
17日(水)	1-5年修了式 3-4年1stステージ修了式	21日(水)	3・5年 午前授業・合同保護者会
18日(木)	卒業式	23日(金)	4・6年 学年保護者会
		26日(月)	1・2年 (SBH/講堂)

